

水稻トビイロウンカの防除の徹底を！

トビイロウンカについては、本年 8 月 22 日に発生予察注意報第 3 号を發表し、防除の徹底をお願いしているところですが、9 月 16 日の巡回調査の結果、県南部地帯での発生圃場率は 63.6% と高くなっており、株当たり虫数が 2.9 頭まで増加しています。また、増殖率の高い短翅型雌成虫も広範囲で確認されており、今後、中生・晩生品種で坪枯れ被害が発生する恐れが高まっています。現在、県南の東部地域の一部で、トビイロウンカによる坪枯れの発生が確認されており、引き続き防除の徹底をお願いします。

《防除対策》

- (1) 収穫の 1 か月以上前に株当たり虫数が 10 頭以上、又は中生・晩生種で短翅型雌成虫が株当たり 0.2 頭以上確認された圃場では、収穫期までに坪枯れが発生する恐れがあるので、直ちに防除を実施する。なお、本虫は圃場内で局所的に生息するため、圃場の中央部まで入りながら、なるべく多くの株元をよく観察する。
- (2) 粒剤は効果の発現が遅いので、直ちに防除が必要な圃場では、粉剤、液剤を散布する。粉剤、液剤は、虫体にかかると十分な効果が得られないので、株元に生息するトビイロウンカにかかるように丁寧に散布する。なお、収穫期が近い場合の薬剤散布は、特に農薬使用基準の収穫前日数をよく確認して行う。

表 水稻におけるトビイロウンカの主な防除薬剤

薬 剤 名	農 薬 使 用 基 準		
	使用時期 (収穫前日数)	使用回数	使用濃度・使用量
トレボン粉剤DL ¹⁾	収穫 7 日前まで	3 回以内	3~4kg/10a
MR. ジョーカー EW ¹⁾	収穫 14 日前まで	2 回以内	2,000 倍
MR. ジョーカー粉剤DL ¹⁾	収穫 7 日前まで		3~4kg/10a
ベストガード水溶剤	収穫 14 日前まで	4 回以内	2,000~4,000 倍
ベストガード粒剤	収穫 14 日前まで		3~4kg/10a
スタークル/アルバリン粉剤DL	収穫 7 日前まで	3 回以内	3kg/10a
スタークル/アルバリン顆粒水溶剤	収穫 7 日前まで		3,000 倍
スタークル豆つぶ	収穫 7 日前まで		250~500g/10a
スタークル/アルバリン粒剤	収穫 7 日前まで		3kg/10a
ダントツ粉剤DL	収穫 7 日前まで	3 回以内	3~4kg/10a
ダントツ水溶剤	収穫 7 日前まで		4,000 倍
ダントツ粒剤	収穫 7 日前まで		3kg/10a

¹⁾ の薬剤は水産動植物に対する危害が発生しやすい地域及び発生するおそれのある地域では使用しない。
農薬の使用に当たってはラベルをよく読み、農薬使用基準を厳守する。また、ドリフトに注意するなど安全・適正に使用する。

この情報は、発生予察注意報第 3 号とともに、岡山県病虫害防除所ホームページでも公表しています。

アドレスは、http://www.pref.okayama.jp/soshiki/kakuka.html?sec_sec1=239 です。